

令和 6 年度病虫害発生予察予報第 3 号(令和 6 年 6 月)

令和 6 年 6 月 5 日
高知県病虫害防除所

《予報の概要》

作物名	病虫害名	予想発生量※
水稲 (早期稲)	いもち病 ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ セジロウンカ イネカメムシ	<u>多(西)</u> 、平年並(東、中央、中西) <u>やや多(中央)</u> 、平年並(東、中西、西) 平年並(県下全域) 平年並(県下全域) <u>多(県下全域)</u>
水稲 (普通期稲)	いもち病 イネミズゾウムシ スクミリンゴガイ	平年並(県下全域) <u>やや多(西)</u> 、平年並(東、中央、中西) <u>多(県下全域)</u>
カンキツ類 (温州ミカン)	そうか病 黒点病 ミカンハダニ	<u>やや多(中央)</u> 平年並(中央) 少(中央)
カンキツ類 (中晩柑類)	そうか病 黒点病 かいよう病 ミカンハダニ	<u>やや多(東部、西部)</u> 、少(中央、中西) <u>多(中央)</u> 、 <u>やや多(東)</u> 、並(中西)、少(西) <u>多(東)</u> 、平年並(中央、中西、西) 並(中西)、少(東、中央、西)
果樹類	果樹カメムシ類	<u>多(県下全域)</u>

※ ()内の表記 東：県東部、中央：県中央部、中西：県中西部、西：県西部
県東部：安芸市、室戸市および安芸郡の町村
県中央部：高知市、南国市、香美市、香南市、長岡郡・土佐郡の町村、
吾川郡いの町および高岡郡日高村
県中西部：土佐市、須崎市、高岡郡(日高村を除く)町村および吾川郡仁淀川町
県西部：四万十市、宿毛市、土佐清水市および幡多郡の町村

I 気象予報(高松地方気象台5月30日発表)

6月1日から6月30日までの天候見通し

＜予想される向こう1か月の天候＞

向こう1か月の気温はほぼ平年並ですが、期間のはじめは冷涼な空気の影響を受けやすいため、かなり低くなる見込みです。一方、3～4週目の気温は暖かい空気に覆われやすく高いでしょう。前線や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並の確率40%です。降水量は、平年並、多い確率ともに40%です。日照時間は、多い確率40%です。

週別の気温は、1週目は低い確率が70%です。2週目は低い確率が50%です。3～4週目は高い確率が50%です。

＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞

期間	対象地域	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
1か月	四国地方	気温	30	40	30
		降水量	20	40	40
		日照時間	30	30	40

＜気温経過の各階級の確率(%)＞

期間	対象地域	低い	平年並	高い
1週目	四国地方	70		20 10
2週目		50		30 20
3～4週目		20	30	50

＜予報の対象期間＞

1か月：6月1日(土)～6月30日(日)

1週目：6月1日(土)～6月7日(金)

2週目：6月8日(土)～6月14日(金)

3～4週目：6月15日(土)～6月28日(金)

II 病虫害発生予想

1 早期稲の病虫害

1) いもち病(葉いもち)

予 想 発生量：多(西部)、平年並(東部、中央部、中西部)

根 拠

(1) 5月の調査では、県西部で平年より多い発生が見られた。向こう1か月の降水量は平年並か多いと予想されており、今後、本病の発病に好適な条件が出現しやすくなると考えられる。

(2) BLASTAM(葉いもち発生予測システム)では、5月27日に高知市で感染好適日の出現が確認されている(BLASTAMによる葉いもち発生予測判定状況は病虫害防除所HPを参照)。

対 策

- (1) 気象や発生状況に注意し、進行型病斑を認めたら速やかに薬剤防除を行う。
- (2) QoI剤耐性菌発生を防止するため、QoI剤の使用回数は作期を通じて1回とする。
- (3) 窒素過多は発病を助長するので、穂肥等の施用は生育状況を見ながら適切に行う。

2) ツマグロヨコバイ

予 想 発生量:やや多(中央部)、平年並(東部、中西部、西部)

根 拠

- (1) 5月の調査では県中央部で発生が見られ、発生面積は平年並であった。
- (2) 6月の気温はほぼ平年並と予想されているため、本虫の発生は増加し、未発生地域においても発生が見られるようになると考えられる。

対 策

- (1) 近年、本虫の媒介する萎縮病の発生はほとんど見られていないことから、低密度時に薬剤防除を実施する必要はない。しかし、出穂期から登熟期にかけて本虫の密度が高くなると実の充実が悪くなることがあるので、その場合は他の病害虫とあわせて防除を行う。

3) ヒメトビウンカ

予 想 発生量:平年並(県下全域)

根 拠

- (1) 5月の調査では発生が確認されていないものの、暖冬であったことから越冬量は多いと考えられ、今後発生が増加してくると考えられる。
- (2) 6月の気温はほぼ平年並と予想されているため、本虫の発生は増加し、未発生地域においても発生が見られるようになると考えられる。

対 策

- (1) 本県では、本虫の媒介する縞葉枯病がほとんど発生していないため本虫を対象にした薬剤散布の必要性は低いが、発生が多い場合は、他の病害虫との同時防除を行う。

4) セジロウンカ

予 想 発生量:平年並(県下全域)

根 拠

- (1) 5月の調査では県内での発生は確認されていないが、例年、6月～7月に大陸から飛来するため、梅雨時期以降は発生が増加すると予想される。

対 策

- (1) セジロウンカは、トビイロウンカ、コブノメイガ同様、中国大陸等から飛来する害虫である。ほ場内での発生に注意し、飛来が多く、成虫数が株当たり5頭以上になったときは薬剤防除を行う。

5) イネカメムシ

予 想 発生量:多(県下全域)

根 拠

- (1) 近年、県下全域で発生が増加しており、昨年の普通期水稻出穂期の1ほ場あたりの斑点米カメムシ類発生頭数21.8頭のうち、本虫は12.4頭と最も多かった。
- (2) 南国市廿枝に設置した予察灯では、過去10年で最も早く5月10日に誘殺が確認され

ている。

対 策

- (1) 出穂期の加害により不稔となる恐れがあるため早期発見に努め、発生が見られる
ほ場では出穂期に薬剤防除を実施する。

2 普通期稲の病害虫

1) いもち病(葉いもち)

予 想 発生量: 平年並(県下全域)

根 拠

- (1) 向こう1か月の降水量は平年並か多いと予想されており、今後、本病の発病に好適
な条件が出現しやすくなると考えられる。
- (2) BLASTAM(葉いもち発生予測システム)では、5月27日に高知市で感染好適日が確認
されている(BLASTAMによる葉いもち発生予測判定状況は病害虫防除所HPを参照)。

対 策

- (1) 気象や発生状況に注意し、進行型病斑を認めたら速やかに薬剤防除を行う。
- (2) QoI剤耐性菌発生を防止するため、QoI剤の使用回数は作期を通じて1回とする。

2) イネミズゾウムシ

予 想 発生量: やや多(西部)、平年並(東部、中央部、中西部)

根 拠

- (1) 5月の早期稲の巡回調査では県下全域で発生が見られ、県西部では平年よりもやや
多かった。6月の気温はほぼ平年並と予想されており、平年と同様に移植後すぐに本
田への侵入が見られるものと考えられる。

対 策

- (1) 育苗箱施用剤の処理が一般的になっており、実害はないと考えられる。

3) スクミリンゴガイ

予 想 発生量: 多(県下全域)

根 拠

- (1) 5月の早期稲の巡回調査では、県下全域で発生面積は平年並から多く、発生程度は
やや高かったことから、普通期稲においても発生が多くなると考えられる。
- (2) 6月の気温はほぼ平年並と予想されていることから、活動は活発になり、移植後は
被害を受けやすいと考えられる。

対 策

- (1) 発生水田では田植後2～3週間はできるだけ浅水管理を行うとともに、高密度の場合
は薬剤防除を行う。
- (2) 水路からの侵入を防止するため、取水口や排水口に金網等(約5mm目合)を設置する
とともに、発生した貝と卵塊を捕殺する。

3 カンキツ(温州ミカン)の病害虫

1) そうか病

予 想 発生量: やや多(中央部)

根 拠

- (1) 5月の調査では発生面積は平年並であった。

- (2) 6月の降水量は平年並か多いと予想されており、平年と同様に曇雨天の日が多くなる見込みであることから、既発ほ場を中心に発生は増加すると考えられる。

対 策

- (1) 幼木や発生の多い園地では、黒点病との防除を兼ねた予防的な薬剤散布により感染を防ぐ。また、防風垣などの整枝を行い、園地の通風をよくする。

2) 黒点病

予 想 発生量:平年並(中央部)

根 拠

- (1) 5月の調査では、発生面積は平年よりもやや少なかった。
(2) 6月の降水量は平年並か多いと予想されており、平年と同様に曇雨天の日が多くなる見込みであることから、既発ほ場を中心に発生は増加し、その他のほ場でも発生が見られ始めると考えられる。

対 策

- (1) 密植園での間伐、老木の更新、防風垣の整備等により、枯枝の発生ができるだけ少なくなるように管理する。
(2) 前回の防除以後の累積降雨量が250mm前後に達した時点で次の散布を行う。一般的には5月中下旬から7月上旬の間に3回程度、8月下旬から9月上旬にかけて1～2回散布する。発病の多いほ場では適宜散布回数を増やす。

3) ミカンハダニ

予 想 発生量:少(中央部)

根 拠

- (1) 5月の調査では、発生面積は平年よりも少なかった。
(2) 6月の気温はほぼ平年並、降水量は平年並か多いと予想されており、現状の発生量で推移すると考えられる。

対 策

- (1) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、異なった系統の薬剤によるローテーション防除を心がける。

4 カンキツ(中晩柑類)の病害虫

1) そうか病

予 想 発生量:やや多(東部、西部)、少(中央部、中西部)

根 拠

- (1) 5月の調査では県東部と西部で発生が見られ、発生面積は東部、西部ともに平年並であった。
(2) 6月の降水量は平年並か多い、日照時間はほぼ平年並と予想されており、平年と同様に曇雨天の日が多い見込みであることから、既発ほ場を中心に発生が増加すると考えられる。

対 策

- (1) 幼木や発生の多い園地では、黒点病との防除を兼ねて、予防的な薬剤散布により感染を防ぐ。また、防風垣などの整枝を行い、園地の通風をよくする。

2) 黒点病

予 想 発生量:多(中央部)、やや多(東部)、並(中西部)、少(西部)

根 拠

- (1) 5月の調査では、県東部、中央部、中西部で発生が見られ、発生面積は県中央部で
 平年よりも多く、東部で平年並、中西部でやや少なかった。
- (2) 6月の降水量は平年並か多いと予想されており、平年と同様に曇雨天の日が多い見
 込みであることから、既発ほ場を中心に発生は増加し、その他のほ場でも発生が見
 られ始めると考えられる。

対 策

- (1) 密植園での間伐、老木の更新、防風垣の整備等により、枯枝の発生ができるだけ
 少なくなるように管理する。
- (2) 前回の防除以後の累積降雨量が250mm前後に達した時点で次の散布を行う。一般的
 には5月中下旬から7月上旬の間に3回程度、8月下旬から9月上旬にかけて1〜2回散
 布する。発病の多いほ場では適宜散布回数を増やす。

3) かいよう病

予 想 発生量:多(東部)、平年並(中央部、中西部、西部)

根 拠

- (1) 5月の調査では県東部で発生が見られ、発生面積は平年より多かった。
- (2) 6月の降水量は平年並か多いと予想されており、平年と同様に曇雨天の日が多くな
 る見込みであることから、常発ほ場を中心に本病の発生が見られるようになると考
 えられる。

対 策

- (1) 銅剤等の散布による予防に努めるとともに、発病がみられる夏秋梢は剪定、除去
 する。

4) ミカンハダニ

予 想 発生量:並(中西部)、少(東部、中央部、西部)

根 拠

- (1) 5月の調査では、中央部、中西部で発生が見られ、発生面積は中西部で平年並、中
 央部では少なかった。
- (2) 6月の気温はほぼ平年並、降水量は平年並か多いと予想されており、現状の発生量
 で推移すると考えられる。

対 策

- (1) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、異なった系統の薬剤によるローテーション防
 除を心がける。

5 果樹類の病害虫

1) 果樹カメムシ類

予 想 発生量:多(県下全域)

根 拠

- (1) 県内4地点に設置したフェロモントラップによる5月の誘殺数は、県下全域で平年
 より多かった。また、県内2地点に設置した予察灯においても、同時期の誘殺数は南
 国市でチャバネアオカメムシ21頭(平年5.3頭)、ツヤアオカメムシ14頭(同0.4頭)、
 四万十市でチャバネアオカメムシ67頭(同2.2頭)、ツヤアオカメムシ57頭(同5.2頭)

と平年を上回る誘殺が見られた。

- (2) 5月のカンキツ園の調査では、県下全域でチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ等の飛来が確認されているほか、中央部のナシ園では幼果の吸汁被害の発生も確認された。いずれも発生面積は県下全域で平年よりも多かった。

対 策

- (1) 果樹園周辺の雑木林から飛来してくるので、ほ場内をよく観察して、飛来を確認したら速やかに防除を実施する。

農作物の病虫害防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

病虫害防除所ホームページ(こうち農業ネット)<https://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2016>

- ①病虫害発生予察月報、病虫害発生予察予報
- ②病虫害発生予察注意報、病虫害発生予察警報、病虫害発生予察特殊報
- ③病虫害発生予察技術資料
- ④新しく問題となっている病虫害 etc.

高知県農薬情報システム <https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/haishinfile/list/kochi>

- ①農薬の検索
- ②農薬データの一覧
- ③配信ファイルの閲覧(農薬安全使用、病虫害防除指針 etc.)